

## 組立・施工説明書

# リアルポート IV

## レギュラー壁付けタイプ

### 《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。  
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

# はじめにお読みください



このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「リアルポートⅣ レギュラー壁付けタイプ」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。  
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。







## 本説明書内の表記

### 警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。  
内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表記	意味
 <b>警告</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 <b>注意</b>	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
<b>お願い</b>	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

### その他の表記

表記	意味
 <b>改訂</b>	商品や作業の変更点
 <b>チェック!</b>	作業するうえで必要な情報
 <b>ポイント</b>	知っておくと便利な情報
 <b>シーリング材</b>	必ずシーリングをする箇所
 <b>電動ドライバー 禁止</b>	電動ドライバーの使用禁止
 <b>電気工事</b>	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で表示しています。

# もくじ

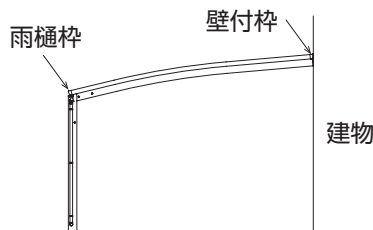
---

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
<b>作業前の確認</b>	<b>P.4</b>
同梱一覧	P.4
全体構成図	P.10
施工の流れ	P.10
<b>基礎工事の準備</b>	<b>P.11</b>
墨出し	P.11
基礎の掘削	P.11
<b>本体フレームの施工</b>	<b>P.12</b>
壁付枠の加工	P.12
壁付枠の取り付け	P.12
柱の施工	P.15
柱・梁の取り付け	P.16
梁の壁付枠への取り付け	P.17
<b>屋根部の施工（基礎工事前）</b>	<b>P.18</b>
壁付枠・雨樋枠・母屋の加工、部品付け（柱を移動する場合）	P.18
壁付枠・雨樋枠・母屋の加工（奥行切り詰めする場合）	P.18
雨樋枠の取り付け	P.18
寸法確認・調整	P.20
母屋の取り付け	P.21
側枠・垂木の取り付け	P.21
柱・梁取付ボルトの本締め	P.22
<b>基礎工事</b>	<b>P.23</b>
柱の水抜き穴加工	P.23
柱の寸法確認	P.23
基礎コンクリートの打ち込み	P.23
<b>屋根部の施工（基礎養生後）</b>	<b>P.24</b>
屋根ふき材の取り付け	P.24
屋根ふき材押えの取り付け	P.25
「屋根ふき材の取り付け」～「屋根ふき材押えの取り付け」の繰り返し	P.26
コーナーキャップの取り付け	P.26
雨樋の施工	P.27
<b>たて連棟の施工</b>	<b>P.28</b>
壁付枠・雨樋枠・母屋の加工・連結	P.28
連結垂木の取り付け	P.32
<b>寸法図</b>	<b>P.33</b>
単体セット	P.33
奥行延長セット	P.34
たて連棟セット	P.35

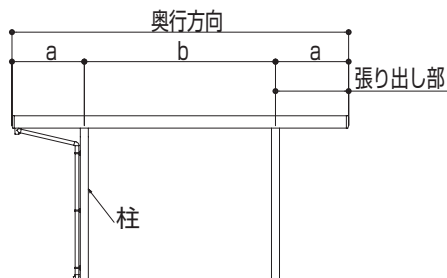
# 安全にお取り扱いいただくために

## ⚠ 注意

- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。  
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。  
異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、部材の落下や漏水など思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、ねじをまっすぐに最後まで締め付けてください。  
締め付け不良は部材の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ボルトは、適正トルクで締め付けてください。  
締め付けが不十分な場合、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
M8ボルト：13N・m(130kgf・cm)
- 商品が破損、変形およびキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。  
破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 本商品は前枠側を建物に向けて施工してください。  
屋根が強風であられ商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- 切り詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。  
奥行方向張り出し部のみ切り詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪や暴風時に商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。  
排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。  
漏水につながるおそれがあります。
- ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材を使用してください  
(別途手配品)。  
ポリカーボネート板の接着不良やひび割れにより、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

## お願い

- 本商品の耐積雪性能は600N/m<sup>2</sup>(61.2kgf/m<sup>2</sup>) (積雪量に換算すると20cm相当)です。積雪量が20cmを超える前に雪おろしが必要であることを施主様に説明してください。
- 商品の屋根の上にのらないでください。  
商品が破損したり、転落によりけがをしたりするおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。皮膚に直接接触することにより、かぶれが起こるおそれがあります。  
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けないでください。  
商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組み立ててください。  
組み立て不良は漏水につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使用してください。  
(アクリル・ポリカーボネート板は0.5%の水溶液)  
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。  
表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。


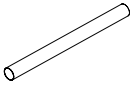
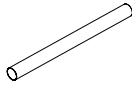



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全带、目・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 商品の保管は、必ず室内でしてください。  
やむを得ず屋外に置く場合は、湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして、防水シートをかけてください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。

# 作業前の確認

## 同梱一覧





### ■柱

姿 図				
品 名	柱	たて樋	たて樋	呼び樋
品 番	<b>2K-73232</b>	<b>K-34805</b>	<b>K-34805</b>	<b>K-34805</b>
YCB-(DS)AA22#XA	2	1	—	1
YCB-(DS)AA25#XA	2	—	1	1
YCB-(DS)AA22#-1TXA	1	1	—	1
YCB-(DS)AA25#-1TXA	1	—	1	1
備 考	—	L=2100mm	L=2450mm	L=1300mm

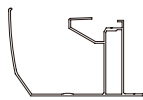
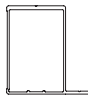
### ■梁

姿 図	
品 名	梁
品 番	<b>K-62147</b>
YCB-(DS)AB##XA	2
YCB-(DS)AB##-1XA	1
備 考	—

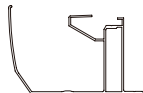

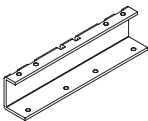
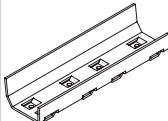
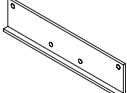
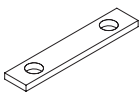
### ■側枠・垂木

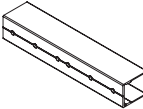
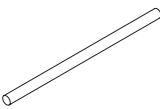


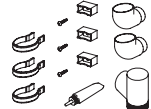

姿 図				
品 名	屋根ふき材押え	側枠	屋根ふき材押え	垂木
品 番	<b>2K-82267</b>	<b>3K-83305</b>	<b>2K-82258</b>	<b>2K-82257</b>
YCB-(DS)AC##-7XA	2	2	6	6
備 考	側枠用	—	垂木用	—

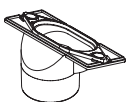
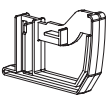
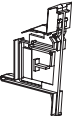



### ■雨樋枠・母屋



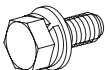


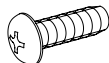
姿 図		
品 名	後枠	母屋
品 番	<b>3K-83309</b>	<b>3K-87215</b>
YCB-(DS)ADA51-4XA	1	4
YCB-(DS)ADA51-5XA	1	5
YCB-(DS)FDA51-6XA	1	6
備 考	—	—







## ■雨樋柵・母屋(奥行延長)

姿 図						
品 名	後柵	母屋	前柵連結材	後柵連結材A	後柵連結材B	後柵連結材C
品 番	<b>3K-83309</b>	<b>3K-87214</b>	<b>6K-19490</b>	<b>6K-19491</b>	<b>6K-19492</b>	<b>6K-19493</b>
YCB-(DS)ADA14-4XA	1	4	1	1	1	1
YCB-(DS)ADA14-5XA	1	5	1	1	1	1
備 考	-	-	-	-	-	-

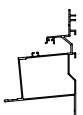
姿 図						
品 名	母屋連結材	柱アンカー	柱取付裏板	柱カバー	雨樋セット	穴隠し
品 番	<b>7K-11982</b>	<b>K-11711</b>	<b>3K-19549</b>	<b>5K-17921</b>	<b>EA-E1</b>	<b>3K-30633</b>
YCB-(DS)ADA14-4XA	4	1	2	1	1	1
YCB-(DS)ADA14-5XA	5	1	-	1	1	1
備 考	-	L=200mm	-	-	-	-

姿 図						
品 名	ドレイン	後柵連結カバー	壁付柵連結 カバー	穴塞ぎシール (φ14)	皿木ねじ (φ3.8×40)	カラー
品 番	<b>3K-30634</b>	<b>3K-31978</b>	<b>3K-32288</b>	<b>K-40433</b>	<b>WF-3840</b>	<b>K-32761</b>
YCB-(DS)ADA14-4XA	1	1	1	12	2	2
YCB-(DS)ADA14-5XA	1	1	1	14	2	2
備 考	-	-	-	柱移動用	壁付柵仮固定用	壁付柵仮固定用

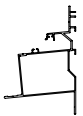
姿 図						
品 名	ワッシャー	座金組込コーチ ねじ(φ6×90)	座金組込六角 ボルト(M8×25)	座金組込六角 ボルト(M6×20)	トラスタッピン ねじ(φ5×10) (ゴムワッシャー付き)	小トラス タッピンねじ (φ5×16)
品 番	<b>K-6365</b>	<b>3K-15126</b>	<b>2K-17611</b>	<b>2K-16224</b>	<b>5K-14711</b>	<b>EM-5016</b>
YCB-(DS)ADA14-4XA	2	4	4	2	8	4
YCB-(DS)ADA14-5XA	2	4	8	2	8	4
備 考	壁付柵仮固定用	壁付柵 取り付け用	柱・梁 取り付け用	壁付柵 取り付け用	雨樋柵連結用	壁付柵連結用

姿 図						
品 名	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)
品 番	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
YCB-(DS)ADA14-4XA	4	34	36	10	4	18
YCB-(DS)ADA14-5XA	—	40	44	12	4	21
備 考	柱取付裏板 取り付け用	壁付枠・雨樋枠・ 母屋連結用	屋根ふき材押え 取り付け用	雨樋枠・母屋 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	垂木・連結垂木 取り付け用

■壁付枠

姿 図	
品 名	垂木掛け
品 番	<b>3K-85529</b>
YCB-(DS)ADB51	1
備 考	—

■壁付枠(奥行延長)

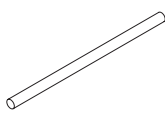
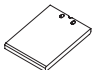

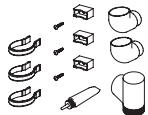

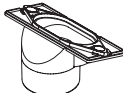
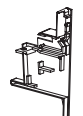
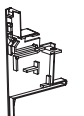
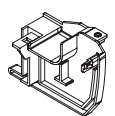
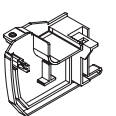
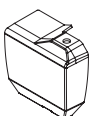
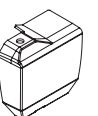

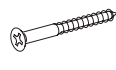



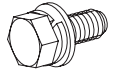






姿 図	
品 名	垂木掛け
品 番	<b>3K-85529</b>
YCB-(DS)ADB14	1
備 考	—



■垂木・連結垂木

姿 図				
品 名	屋根ふき材押え	垂木	垂木	屋根ふき材押え
品 番	<b>2K-82258</b>	<b>2K-82257</b>	<b>2K-82257</b>	<b>2K-82258</b>
YCB-(DS)AEJ##-2XA	1	1	1	1
YCB-(DS)AEJ##-7XA	1	1	6	6
備 考	連結用	連結用	—	—



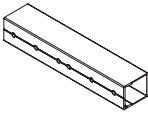



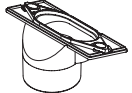
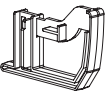
## ■部品箱

姿 図						
品 名	柱アンカー	柱カバー	柱取付裏板	雨樋セット	穴隠し	ドレイン
品 番	<b>K-11711</b>	<b>5K-17921</b>	<b>3K-19549</b>	<b>EA-E1</b>	<b>3K-30633</b>	<b>3K-30634</b>
YCB-(DS)AG-AXA	2	2	4	1	1	1
YCB-(DS)AG-BXA	2	2	—	1	1	1
備 考	L=200mm	—	—	—	—	—
姿 図						
品 名	壁付枠キャップ ベース L	壁付枠キャップ ベース R	後枠キャップ ベース L	後枠キャップ ベース R	キャップ化粧部 L	キャップ化粧部 R
品 番	<b>3K-32286</b>	<b>3K-32287</b>	<b>3K-31975</b>	<b>3K-31976</b>	<b>3K-31981</b>	<b>3K-31982</b>
YCB-(DS)AG-AXA	1	1	1	1	2	2
YCB-(DS)AG-BXA	1	1	1	1	2	2
備 考	—	—	—	—	—	—
姿 図						
品 名	穴塞ぎシール (φ14)	皿木ねじ (φ3.8×40)	カラー	ワッシャー	座金組込コーチ ねじ(φ6×90)	座金組込六角 ボルト(M8×25)
品 番	<b>K-40433</b>	<b>WF-3840</b>	<b>K-32761</b>	<b>K-6365</b>	<b>3K-15126</b>	<b>2K-17611</b>
YCB-(DS)AG-AXA	24	2	2	2	12	8
YCB-(DS)AG-BXA	28	2	2	2	12	16
備 考	柱移動用	壁付枠仮固定用	壁付枠 仮固定用	壁付枠 仮固定用	壁付枠 取り付け用	柱・梁 取り付け用
姿 図						
品 名	座金組込 六角ボルト (M6×20)	トラス タッピンねじ (φ5×10)	トラス タッピンねじ (φ5×10)	トラス タッピンねじ (φ5×10)	トラス タッピンねじ (φ5×10)	トラス タッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>2K-16224</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
YCB-(DS)AG-AXA	4	8	144	20	4	4
YCB-(DS)AG-BXA	4	—	176	24	4	4
備 考	壁付枠 取り付け用	柱取付裏板 取り付け用	屋根ふき材押え 取り付け用	雨樋枠・母屋 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	前後枠キャップ 取り付け用







姿 図			-
品 名	トラス タッピンねじ (φ5×10)	トラス タッピンねじ (φ5×10)	組立・施工 説明書
品 番	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	-
YCB-(DS)AG-AXA	48	2	1
YCB-(DS)AG-BXA	56	2	1
備 考	側枠・垂木 取り付け用	予備	-


■部品箱 (たて連棟)

姿 図						
品 名	柱アンカー	柱カバー	前枠連結材	後枠連結材A	後枠連結材B	後枠連結材C
品 番	<b>K-11711</b>	<b>5K-17921</b>	<b>6K-19490</b>	<b>6K-19491</b>	<b>6K-19492</b>	<b>6K-19493</b>
YCB-(DS)AGJ-AXA	2	2	1	1	1	1
備 考	L=200mm	-	-	-	-	-

姿 図						
品 名	母屋連結材	柱取付裏板	雨樋セット	穴隠し	ドレイン	後枠連結カバー
品 番	<b>7K-11982</b>	<b>3K-19549</b>	<b>EA-E1</b>	<b>3K-30633</b>	<b>3K-30634</b>	<b>3K-31978</b>
YCB-(DS)AGJ-AXA	4	4	1	1	1	1
備 考	-	-	-	-	-	-

姿 図						
品 名	壁付枠 連結カバー	穴塞ぎシール (φ14)	皿木ねじ (φ3.8×40)	カラー	ワッシャー	座金組込コーチ ねじ(φ6×90)
品 番	<b>3K-32288</b>	<b>K-40433</b>	<b>WF-3840</b>	<b>K-32761</b>	<b>K-6365</b>	<b>3K-15126</b>
YCB-(DS)AGJ-AXA	1	24	2	2	2	12
備 考	-	柱移動用	壁付枠 仮固定用	壁付枠 仮固定用	壁付枠 仮固定用	壁付枠 取り付け用

姿 図						
品 名	座金組込 六角ボルト (M6×20)	座金組込 六角ボルト (M8×25)	トラスタッピン ねじ(φ5×10) (ゴムワッシャー付き)	小トラス タッピンねじ (φ5×16)	トラス タッピンねじ (φ5×10)	トラス タッピンねじ (φ5×10)
品 番	<b>2K-16224</b>	<b>2K-17611</b>	<b>5K-14711</b>	<b>EM-5016</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
YCB-(DS)AGJ-AXA	4	8	8	4	8	126
備 考	壁付枠 取り付け用	柱・梁 取り付け用	雨樋枠連結用	壁付枠連結用	柱取付裏板 取り付け用	屋根ふき材 押え取り付け用

姿 図					
品 名	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)	トラス タッピングねじ (φ5×10)
品 番	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>	<b>ET-5010</b>
YCB-(DS)AGJ-AXA	20	48	4	34	2
備 考	雨樋枠・母屋 取り付け用	垂木・連結垂木 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	壁付枠・雨樋枠・ 母屋連結用	予備

## ■ジョイント材

姿 図		
品 名	ジョイント材	ジョイント材
品 番	<b>5K-19110</b>	<b>5K-16549</b>
CCA-(DS)NG1JN	1	—
CCD-(DS)WG2JN	2	—
CCS-(DS)RGA1J	—	1
CCS-(DS)RGA2J	—	2

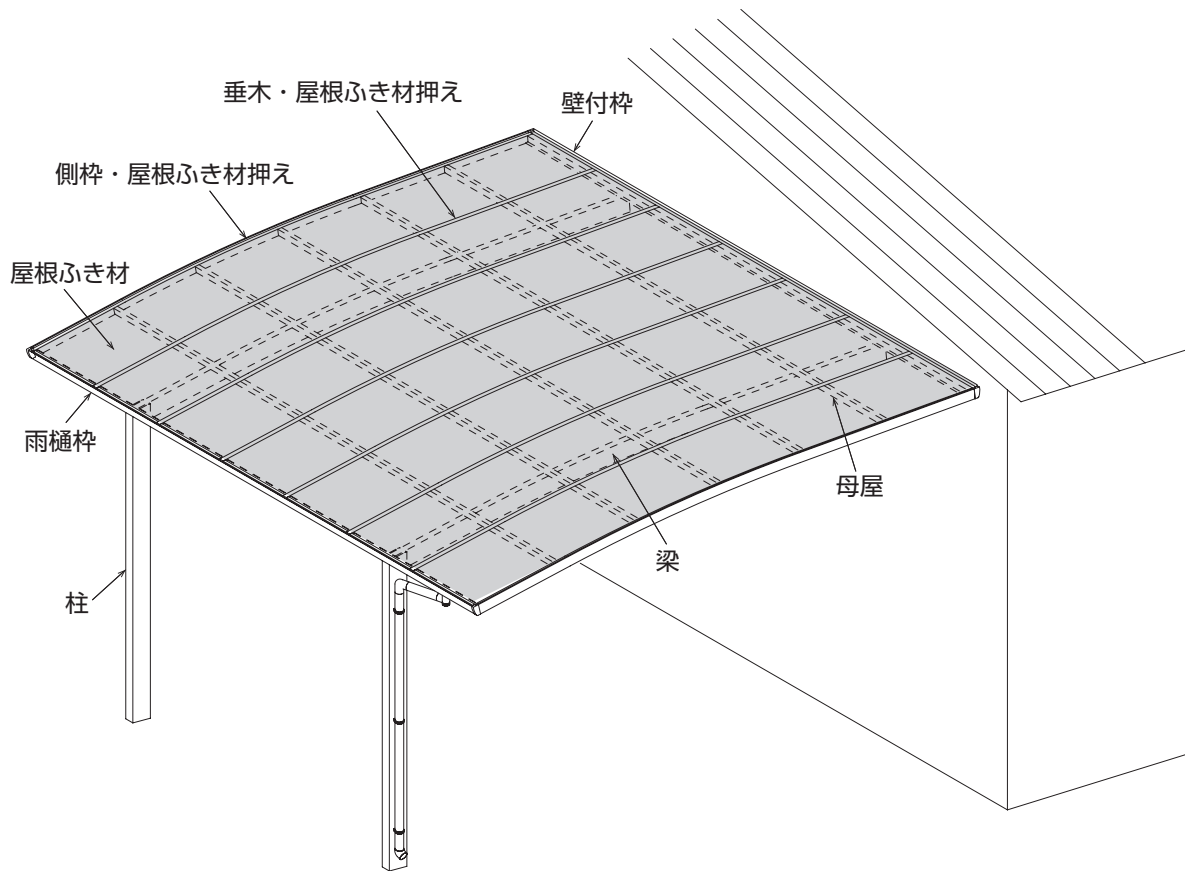
## ■屋根ふき材

ユニット記号	サイズ		数量
	長さ	幅	
CCS-(DS)RF30-2\$\$	2995	706	2
CCS-(DS)RF30-3\$\$			3
CCS-(DS)RF30-4\$\$			4
CCS-(DS)PF30-2\$\$	3471	700	2
CCS-(DS)PF30-3\$\$			3
CCS-(DS)PF30-4\$\$			4
CCA-(DS)NF39-2\$\$	3893	700	2
CCA-(DS)NF39-3\$\$			3

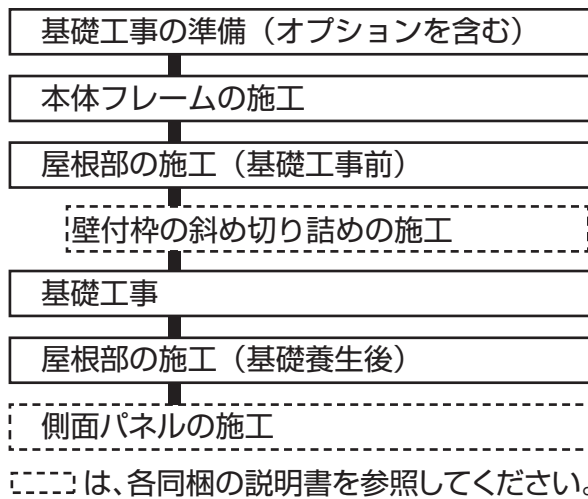
屋根材種類	色	記号
一般ポリカ	ブルースモーク	2A
	ブラウンスモーク	2C
	クリアマット	2F
熱線遮断ポリカ	熱線ブルースモークマット	3B
	熱線クリアマット	3J

- \$\$は屋根ふき材の種類を表します。  
屋根ふき材の種類により、屋根ふき材の末尾の記号が異なります。

## 全体構成図



## 施工の流れ



# 基礎工事の準備

## ⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。地盤の支持力が得られず、商品の沈下や風による転倒で、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、外壁などの損傷につながるおそれがあります。

## 墨出し

- 1 寸法図を参考に、墨出しを行ってください。「寸法図 (→P.33) 参照」

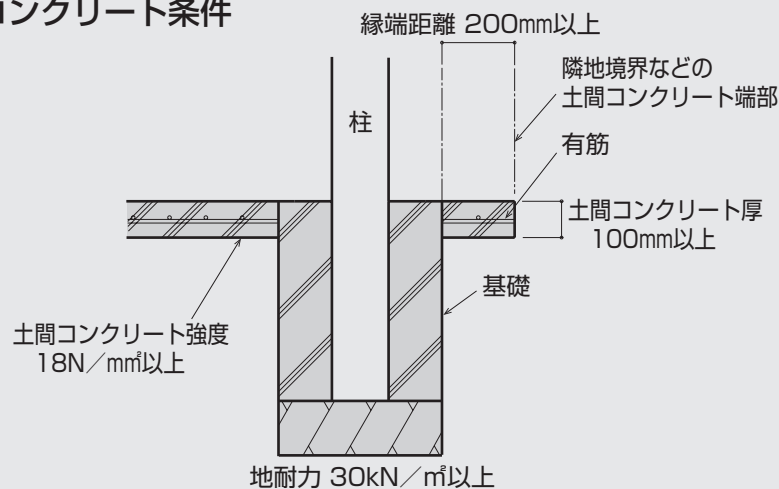
## 基礎の掘削

- 1 寸法図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。「寸法図 (→P.33) 参照」

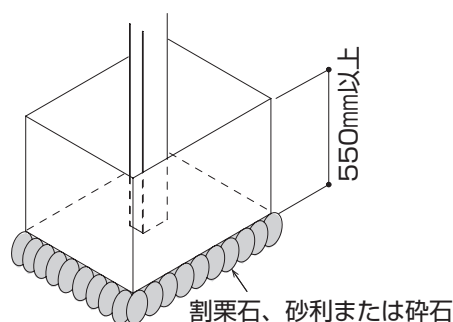


- 「独立基礎」と「土間コンクリート考慮基礎」で基礎サイズが異なります。
- 「**土間コンクリート考慮基礎**」の場合 下記条件を満たす必要があります。

### ●土間コンクリート条件



- 2 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。



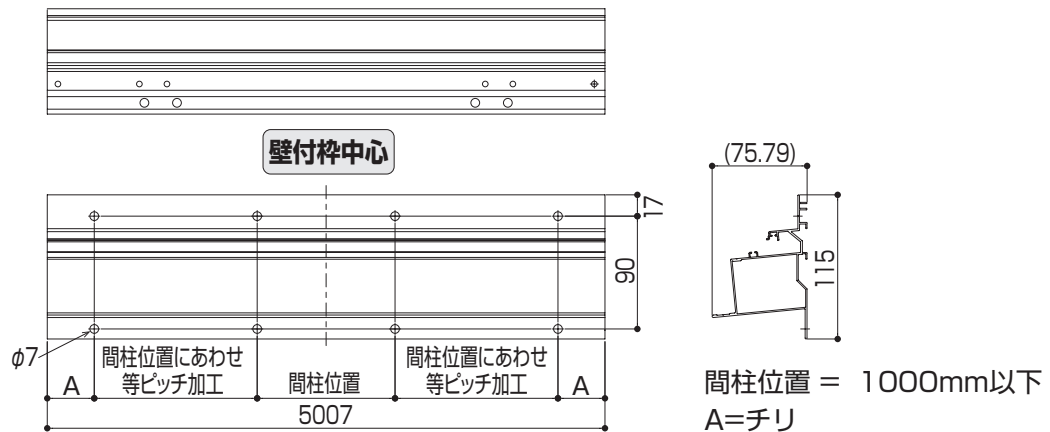
# 本体フレームの施工

## お願い

- 屋根の奥行方向に水勾配をつけてください。(1000mmに対し2~4mm)  
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因となります。

## 壁付枠の加工

- 1 壁付枠中心を基準にして穴加工してください。



## 壁付枠の取り付け

## お願い

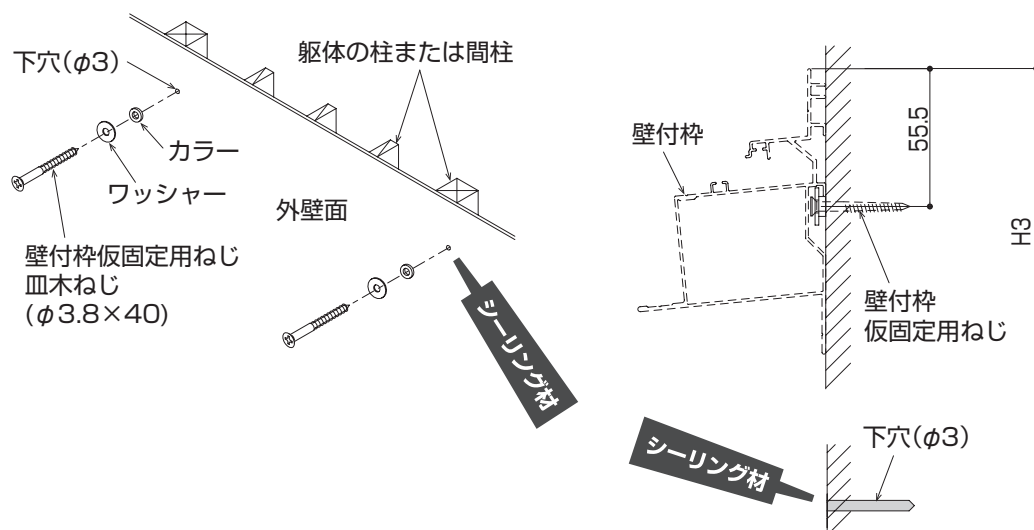
- 壁付枠キャップベースを直射日光が当たる場所または、高温の場所に放置しないでください。  
熱によりキャップが変形するおそれがあります。

- 1 外壁面の躯体の柱または間柱に下穴(φ3)をあけ、シーリング材を充てんしてください。

## ⚠ 注意

- シーリング材は構造材の下穴に到達するように充てんしてください。  
不十分な場合、漏水の原因となります。

- 2 壁付枠仮固定用ねじを柱に取り付けてください。

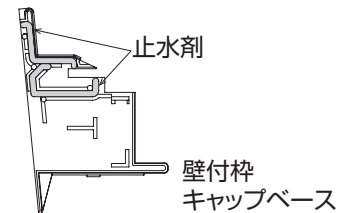


**3** 壁付枠キャップベース取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。

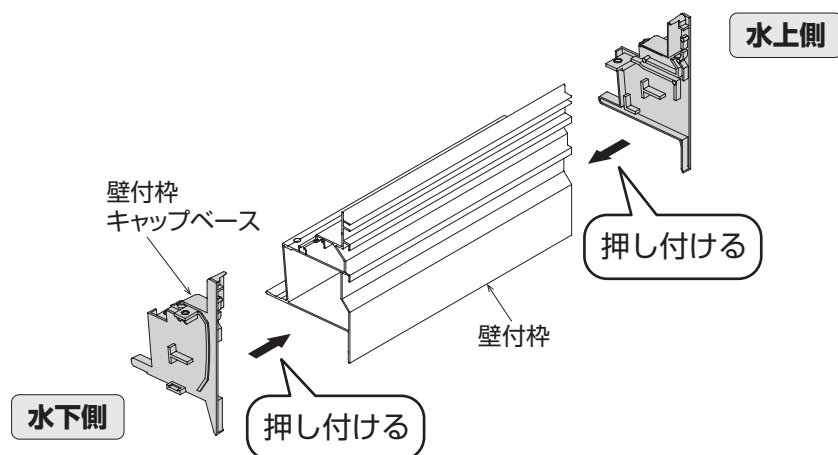
**4** 壁付枠キャップベースを壁付枠に取り付けてください。

**お願い**

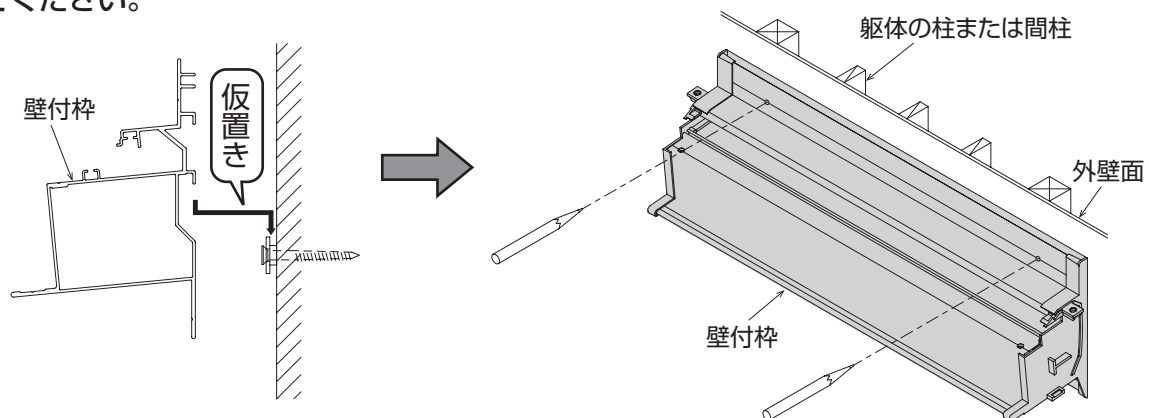
- 壁付枠キャップベースの止水剤に触れないでください。  
砂やほこり、油などを付着させないでください。  
接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 壁付枠キャップベースの取り付け部は、しっかりと押さえつけ  
止水剤を確実に密着させてください。  
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



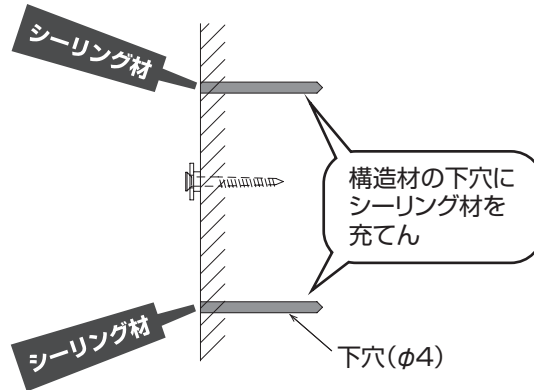
- 壁付枠キャップベースの取り付けは、側枠を取り付ける前に行ってください。



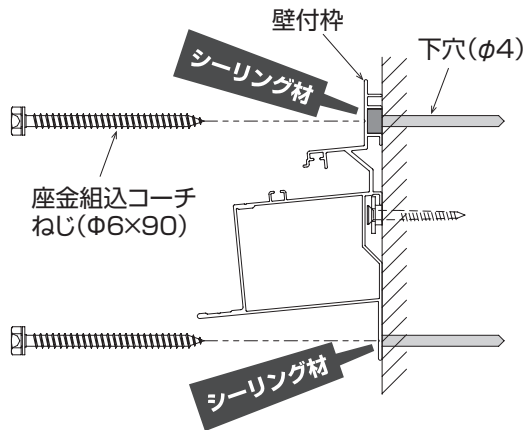
**5** 壁付枠を仮置きし、躯体の柱または間柱への取り付け位置を確認し、取り付け穴位置に印をつけてください。



- 6** 壁付枠を一旦取りはずし、取り付け穴位置に下穴（φ4）をあけ、シーリング材を充てんしてください。



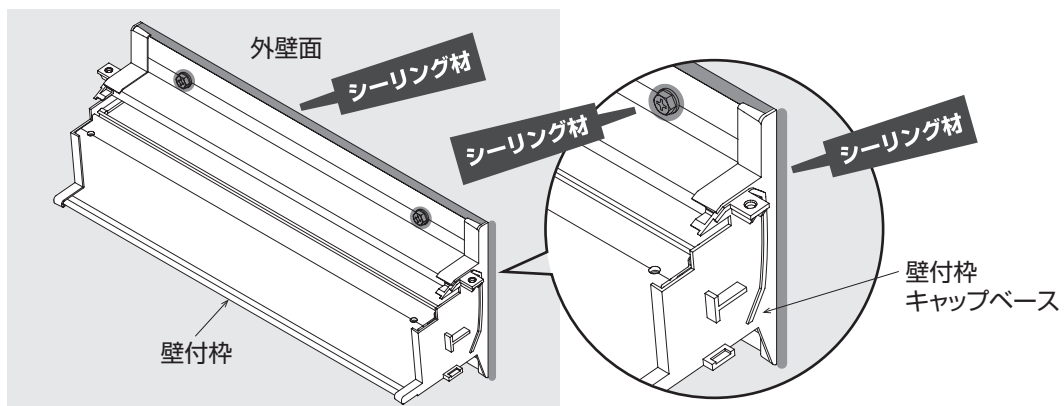
- 7** 壁付枠を再度取り付け、シーリング材を外壁面とのすき間の取付穴に十分に充てんして取り付けてください。



- 8** 壁付枠と外壁面のすき間、壁付枠キャップベースと外壁面のすき間、取付ねじ頭部分にシーリングしてください。

**注意**

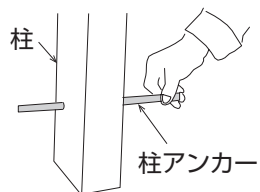
- 壁付枠キャップベースと外壁面のシーリングは端部（コーナー部）まで確実にしてください。不十分な場合、漏水の原因となります。



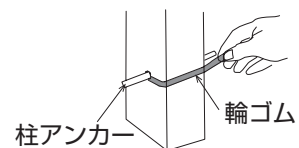


## 柱の施工

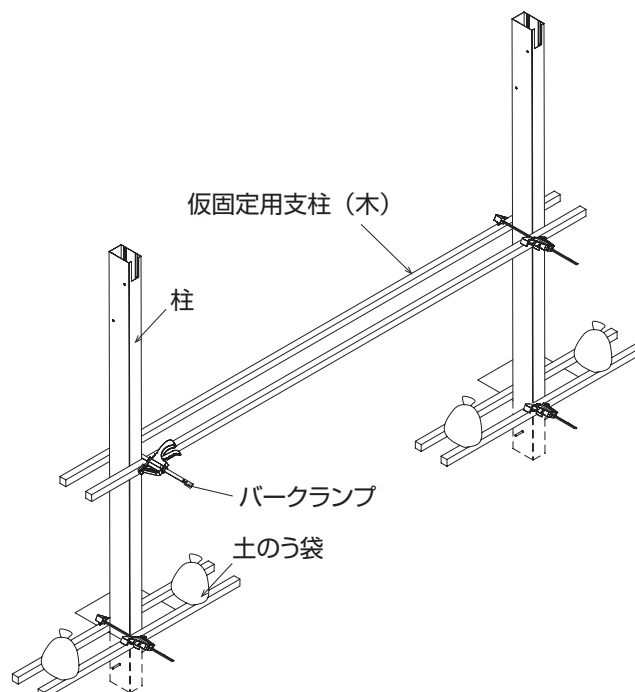
**1** 柱アンカーを柱に取り付けてください。



• 柱アンカーの脱落防止  
例：輪ゴムを柱アンカーに引っかける



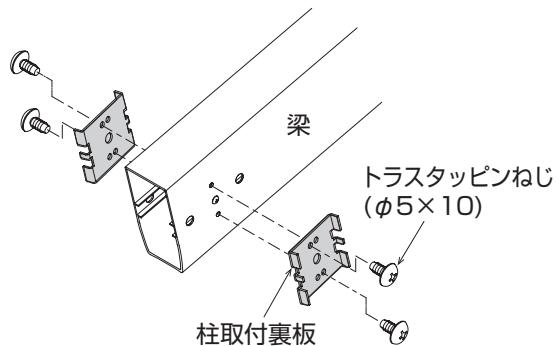
**2** 土のう袋、木片などを利用して柱を仮固定してください。



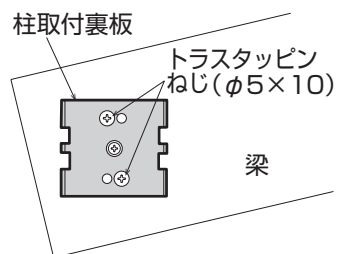
## 柱・梁の取り付け

### D30 の場合

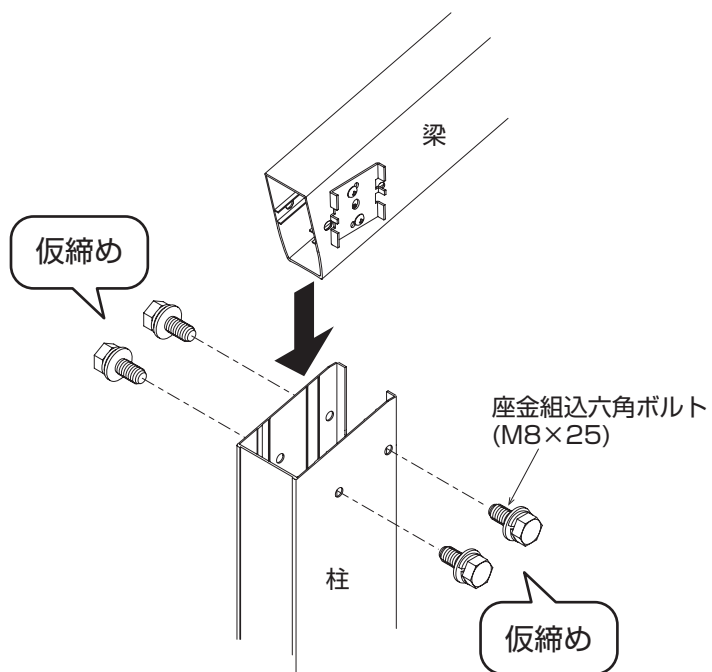
1 柱取付裏板を梁に取り付けてください。



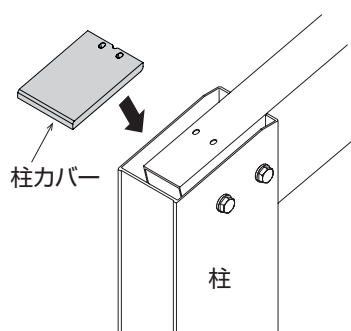
### ● 柱取付裏板取り付け図



2 梁を柱に挿入し、ボルトで仮締めしてください。

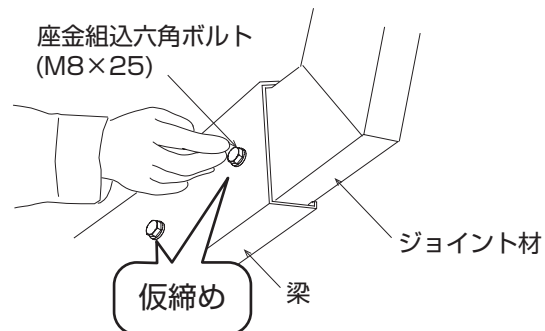


3 柱カバーを柱に取り付けてください。

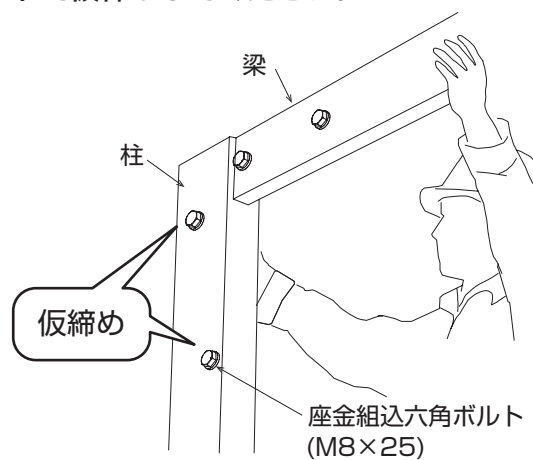


## D35・D39の場合

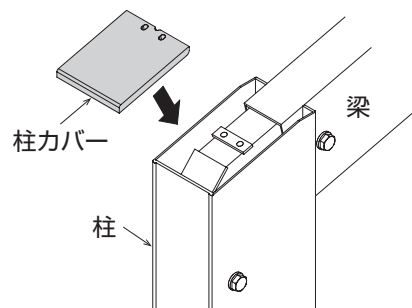
**1** ジョイント材を梁に挿入し、ボルトで仮締めしてください。



**2** 梁を柱に挿入し、ボルトで仮締めしてください。

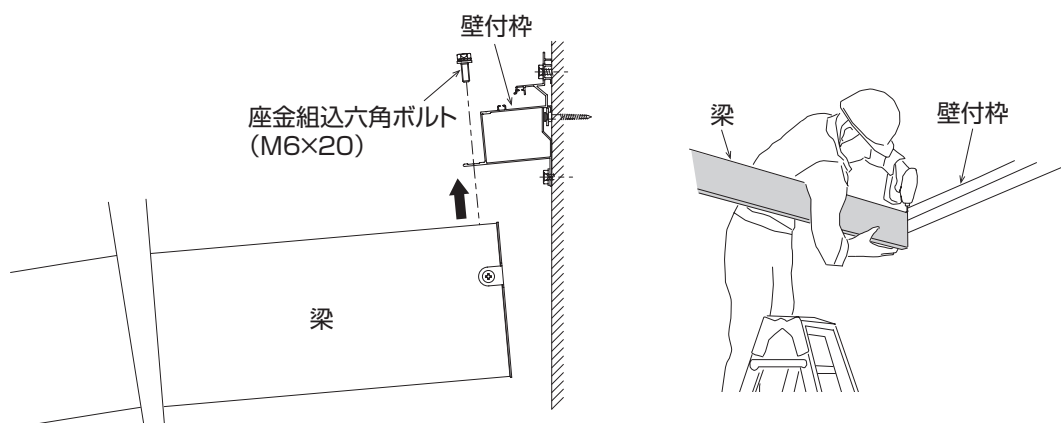


**3** 柱カバーを柱に取り付けてください。



## 梁の壁付枠への取り付け

**1** 梁を壁付枠に取り付けてください。



# 屋根部の施工（基礎工事前）

## 壁付枠・雨樋枠・母屋の加工、部品付け（柱を移動する場合）

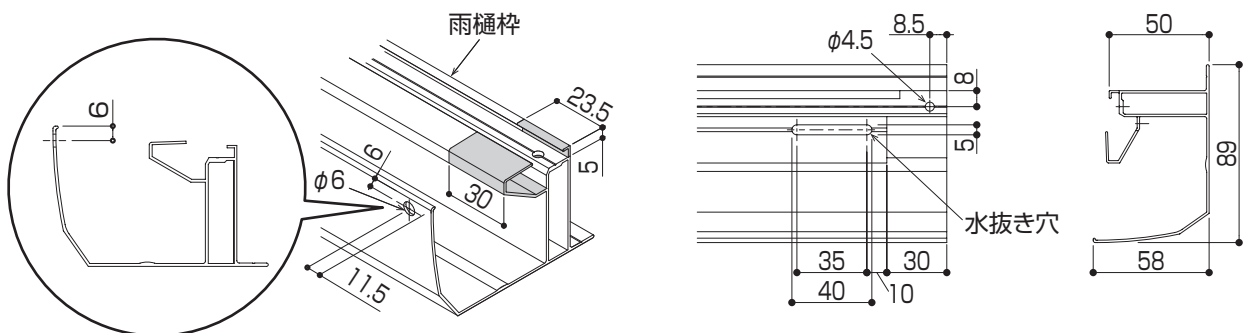
- 1 壁付枠・雨樋枠・母屋に梁位置をあわせて穴加工してください。
- 2 既存の加工穴には穴塞ぎシールを貼ってください。

## 壁付枠・雨樋枠・母屋の加工（奥行切り詰めする場合）

### お願い

- 必ず水抜き穴をあけてください。  
雨水が排水されず、雨漏りの原因となります。
- 部材を切り詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチなどでかしま直してください。  
熱により水密材が縮み、漏水につながるおそれがあります。

- 1 壁付枠・雨樋枠・母屋を切り詰めてください。
- 2 壁付枠・母屋の切り詰め側に左右同様に穴加工してください。
- 3 雨樋枠の切り詰め側に切り欠き、穴加工してください。

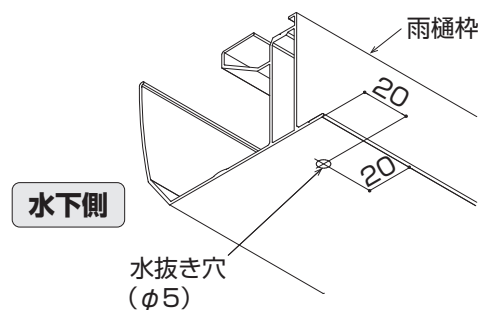


## 雨樋枠の取り付け

### お願い

- 後枠キャップベースを直射日光が当たる場所または、高温の場所に放置しないでください。  
熱によりキャップが変形するおそれがあります。

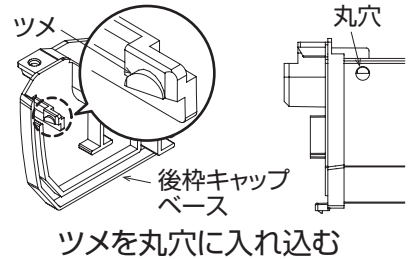
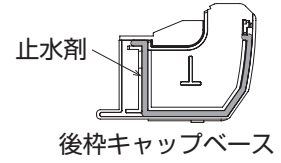
- 1 雨樋枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。



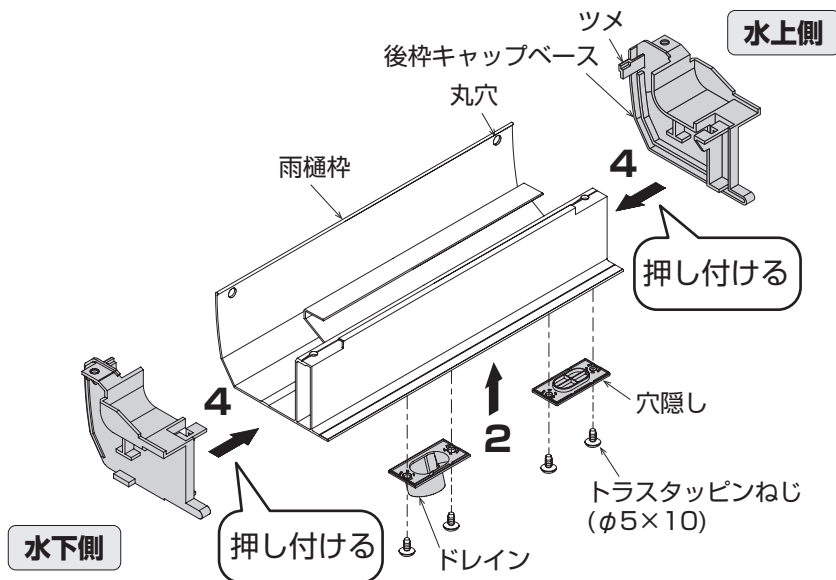
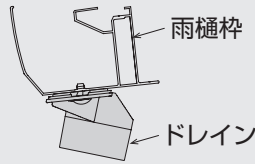
- 2 ドレイン・穴隠しを雨樋枠に取り付けてください。
- 3 後枠キャップベース取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。
- 4 後枠キャップベースを雨樋枠に取り付けてください。

**お願い**

- 後枠キャップベースの止水剤に触れないでください。  
砂やほこり、油などを付着させないでください。  
接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 後枠キャップベースの取り付け部は、しっかりと押さえつけ  
止水剤を確実に密着させてください。  
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。
- 後枠キャップベースのツメが後枠の丸穴に確実に  
入ったことを確認してください。  
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



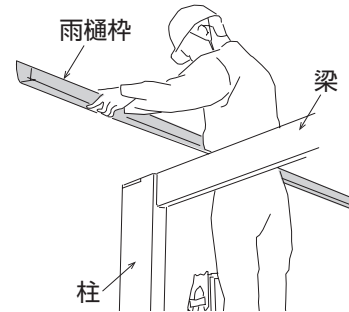
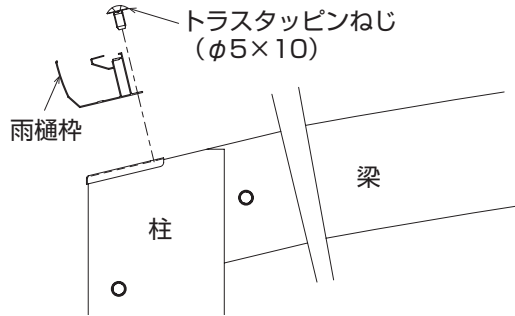
- 後枠キャップベースの取り付けは、側枠を取り付ける前に行ってください。
- ドレインの向きを確認してください。



**5 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合  
部品を取り付けなおす場合**

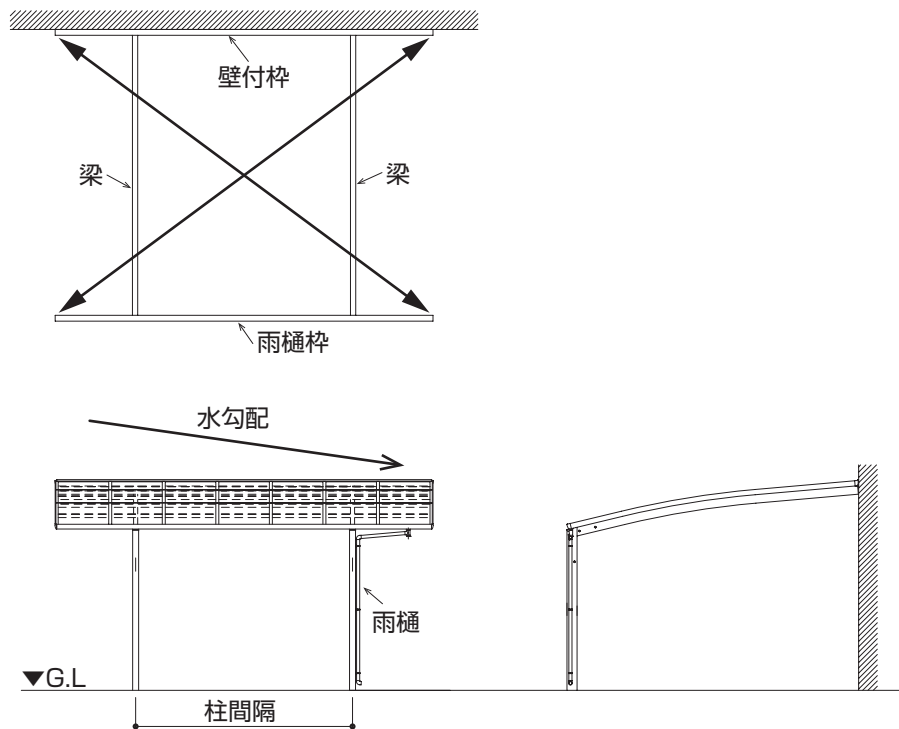
止水剤の上にシーリングして取り付けてください。

**6 雨樋枠を梁に取り付けてください。**



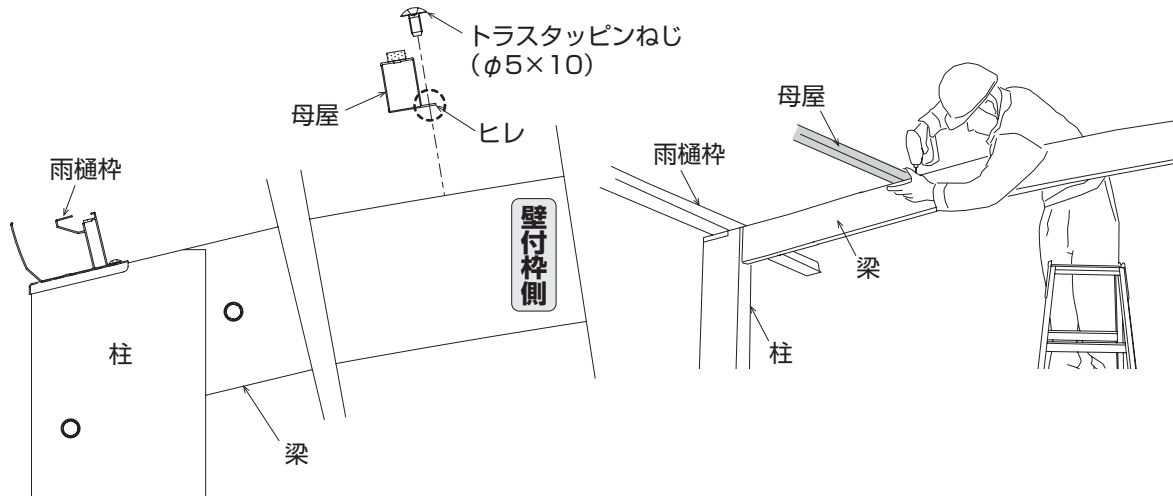
**寸法確認・調整**

- 1 柱の間隔・垂直・対角を確認してください。
- 2 梁と壁付枠、梁と雨樋枠の直角を確認してください。
- 3 雨樋枠（奥行方向）の水勾配を確認してください。  
（雨樋取り付け側が水下側です）
- 4 寸法・角度があわない場合は部材を動かして調整してください。



## 母屋の取り付け

1 母屋のヒレを壁付枠側に向けて、母屋を取り付けてください。



## 側枠・垂木の取り付け



- **たて連棟の場合** 連結垂木を取り付けてください。  
「連結垂木の取り付け（→P.32）参照」

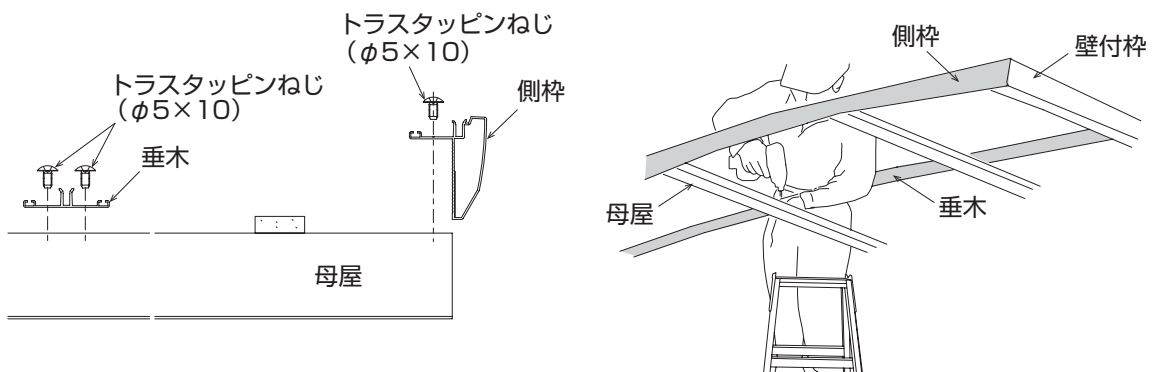
1 側枠と垂木を取り付けてください。



- D35、D39サイズの側枠は前後の方向性があります。  
側枠端部に丸ラベルがある方が壁付枠側です。

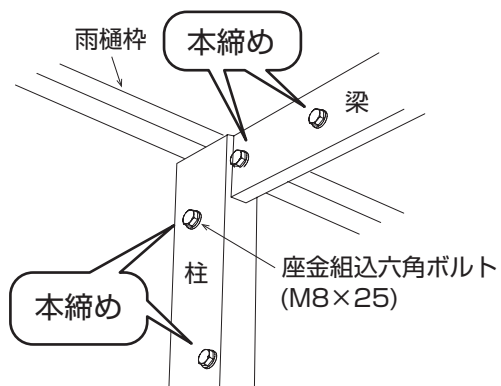


- 壁付枠側→雨樋枠側→母屋部の順番でねじ留めすると穴位置があわせやすくなります。



## 柱・梁取付ボルトの本締め

- 1 寸法を確認してください。「寸法確認・調整（→P.20）参照」
- 2 柱・梁取付ボルトを本締めしてください。





# 基礎工事

## ⚠ 注意

- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- 屋根ふき材の取り付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。(目安：4日～7日)基礎の強度低下につながるおそれがあります。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

## お願い

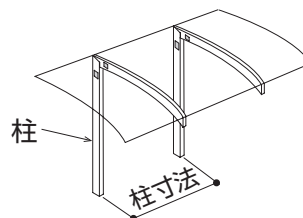
- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリート・モルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。
- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

## 柱の水抜き穴加工

- 柱に水抜き穴をあけてください。(穴位置は「基礎コンクリートの打ち込み」を参照)

## 柱の寸法確認

- 柱寸法を確認してください。「寸法図(→P.33)参照」

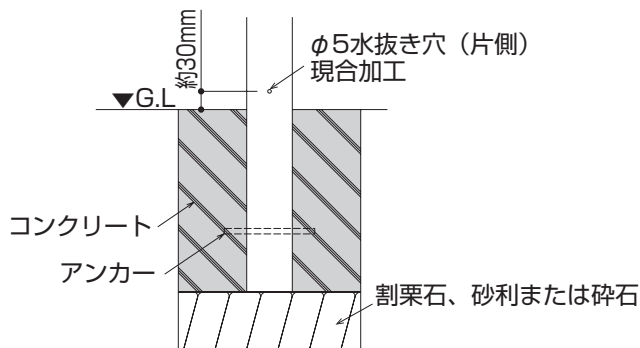


## 基礎コンクリートの打ち込み

- 基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

### お願い

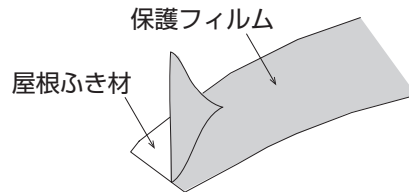
- コンクリートは十分に締め固めてください。ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。
- 柱の水抜き穴はコンクリートで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水が溜まり腐食の原因および思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



# 屋根部の施工（基礎養生後）

## 屋根ふき材の取り付け

1 屋根ふき材の保護フィルムをはがしてください。

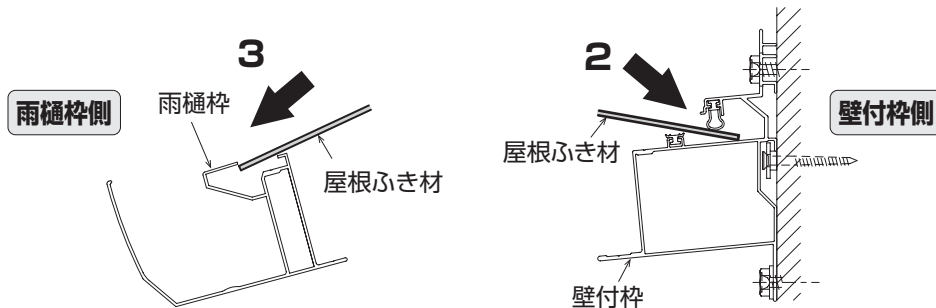


2 屋根ふき材を壁付枠側に挿入してください。

3 屋根ふき材を雨樋枠側に挿入してください。



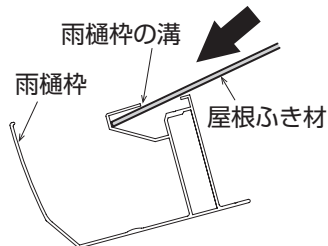
• **屋根ふき材がマット調の場合** マット面(凹凸面)を屋根下面にしてください。



4 屋根ふき材を雨樋枠の溝にあたるまで押し込んでください。

### ⚠ 注意

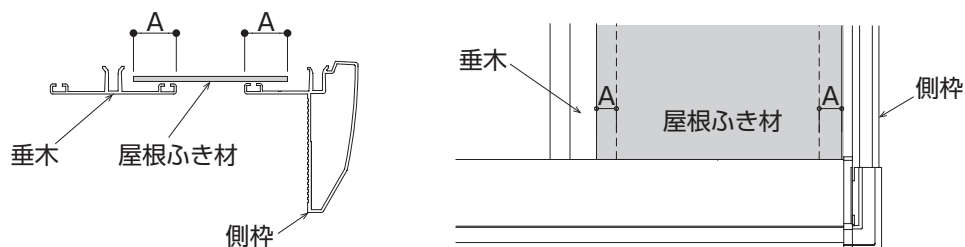
- 屋根ふき材は必ず雨樋枠の溝の奥にあたるまで押し込んでください。  
耐荷重性能低下により商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



5 屋根ふき材の左右のみ込みをあわせてください。

### ⚠ 注意

- 屋根ふき材ののみ込みが左右同じになるように調整してください。  
耐荷重性能低下により商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

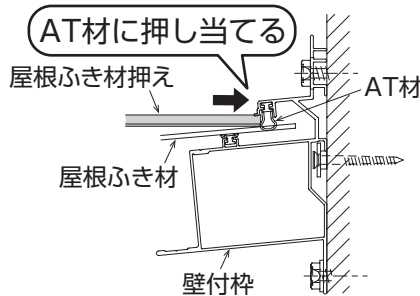
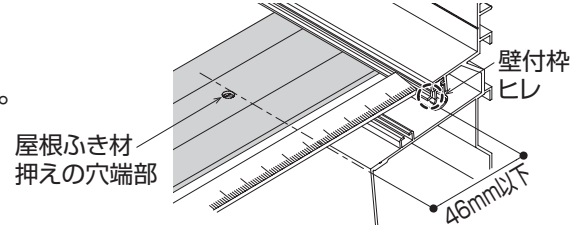


## 屋根ふき材押えの取り付け

1 屋根ふき材押えを壁付枠に挿入し、AT材に押し当ててください。

### お願い

- 屋根ふき材押えの穴端部と壁付枠ヒシ先端が46mm以下になるよう押し込んでください。押し込みが浅い場合、漏水のおそれがあります。



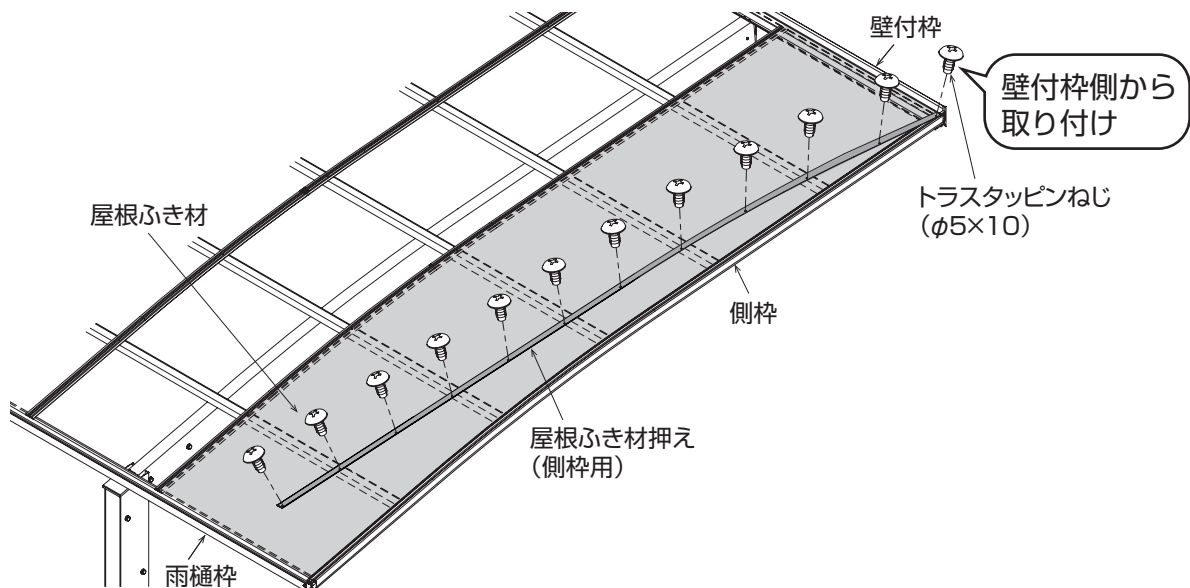
2 AT材に押し当てたまま、壁付枠側から屋根ふき材押えを側枠に取り付けてください。

### ⚠ 注意

- 屋根ふき材押えの取付ねじは、適正トルクでねじ留めしてください。締め付けすぎるとねじが空転し、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
2.5~3.0N・m(25~30kgf・cm)

### お願い

- 壁付枠側→雨樋枠側の順に取り付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えの取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



## 「屋根ふき材の取り付け」～「屋根ふき材押えの取り付け」の繰り返し


1 「屋根ふき材の取り付け」～「屋根ふき材押えの取り付け」を繰り返してください。

**⚠ 注意**


- 屋根ふき材押えの取付ねじは、適正トルクでねじ留めしてください。  
締め付けすぎるとねじが空転し、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
2.5～3.0N・m(25～30kgf・cm)

**お願い**

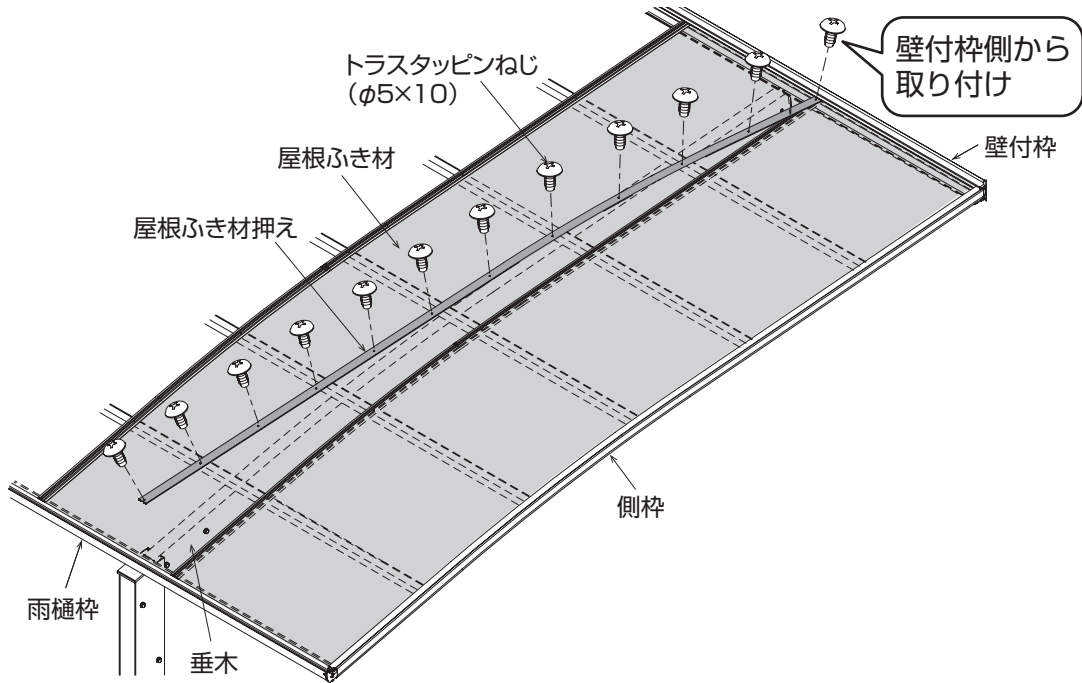
- 壁付枠側→雨樋枠側の順に取り付けてください。雨漏りの原因となります。
- 屋根ふき材押えの取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。  
ねじの浮き、および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



ねじ浮き



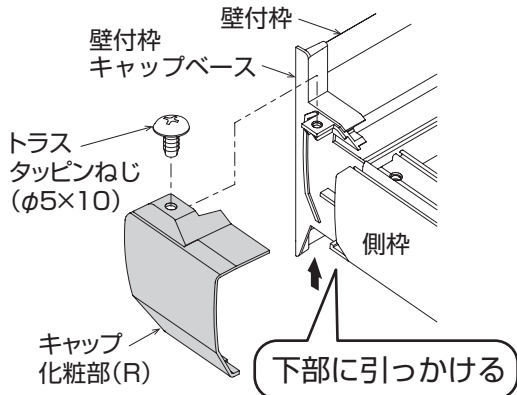
斜め取り付け



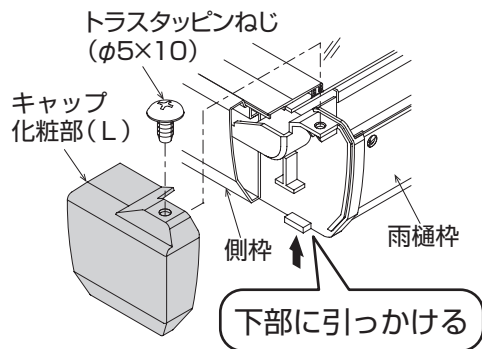
## コーナーキャップの取り付け

1 キャップ化粧部を壁付枠と雨樋枠に取り付けてください。

● 壁付枠側



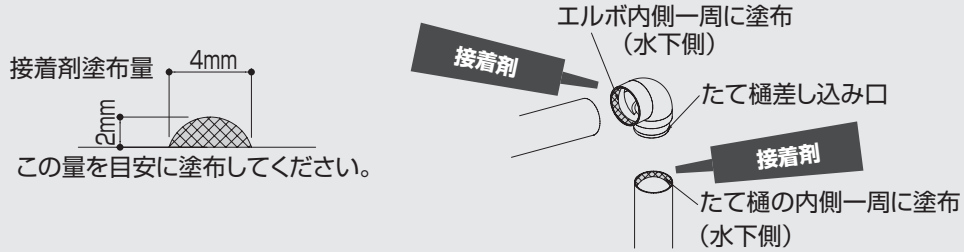
● 雨樋枠側



## 雨樋の施工



- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。必ず商品に同梱の接着剤を使用してください。



1 ブラケット（ベース）を柱に取り付けてください。

### D35・D39の場合

斜線部のジョイント材部分に取り付ける場合は、柱に下穴(φ3.5)をあけてください。

2 呼び樋を取り付け長さにあわせて切断してください。（表参照）

3 ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。

4 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。

5 エルボを呼び樋に挿入してください。

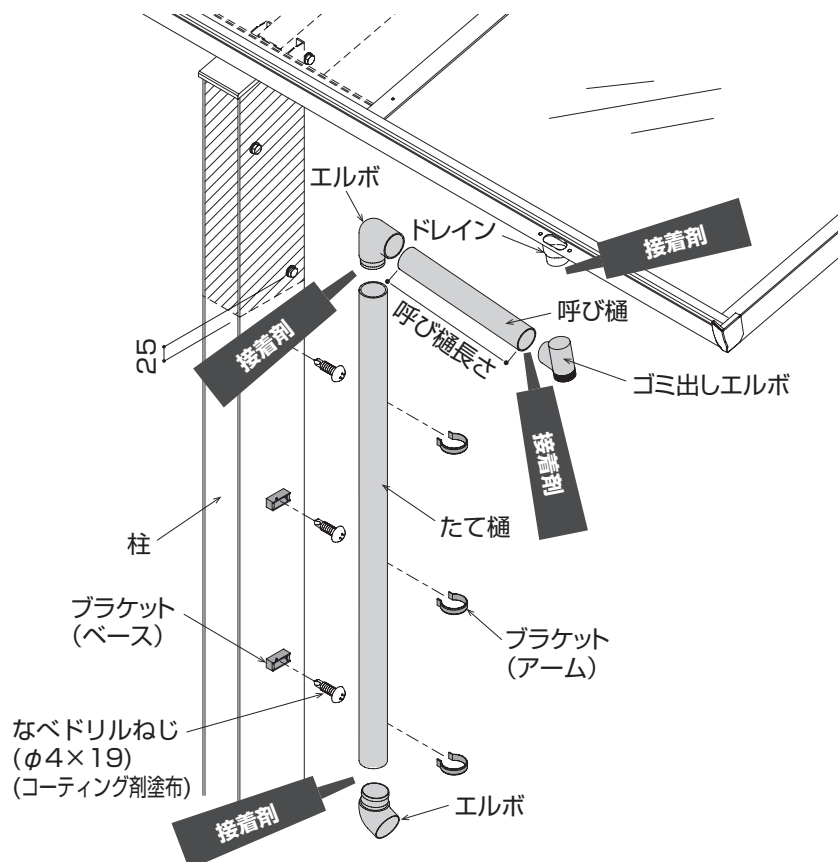
6 たて樋を取り付け長さにあわせて切断してください。

7 たて樋をエルボに挿入してください。

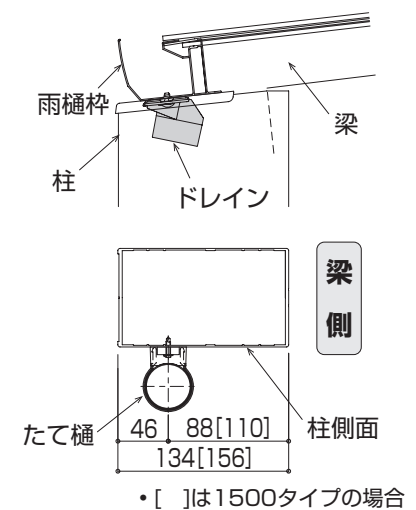
8 エルボをたて樋に挿入してください。

9 ブラケット（アーム）をたて樋に挿入してください。

10 たて樋のブラケット（アーム）をブラケット（ベース）に取り付けてください。



### ■ 取り付け位置



### ■ 柱標準位置での呼び樋長さ

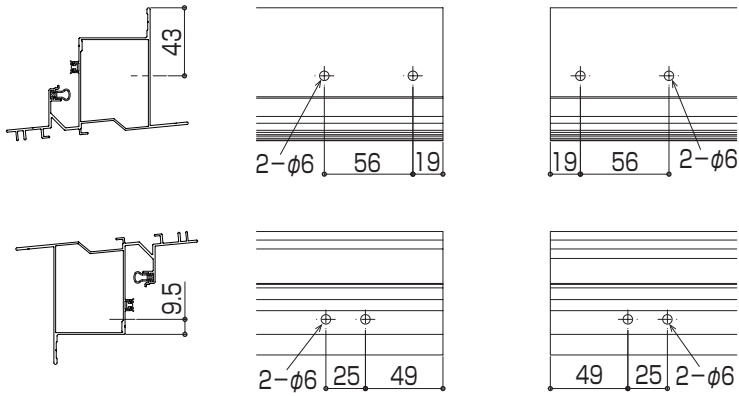
呼称	切断寸法
L14(奥行延長)	330
L51	672

# たて連棟の施工

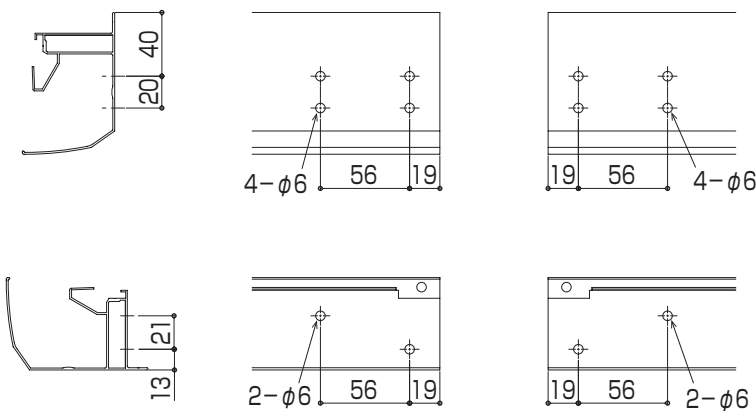
## 壁付枠・雨樋枠・母屋の加工・連結

### 壁付枠・雨樋枠・母屋の加工（連結部）

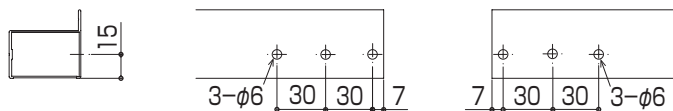
**1** 壁付枠の連結部に穴加工（ $\phi 6$ ）してください。



**2** 雨樋枠の連結部に穴加工（ $\phi 6$ ）してください。



**3** 母屋の連結部に穴加工（ $\phi 6$ ）してください。



## 壁付枠・雨樋枠・母屋の連結

### お願い

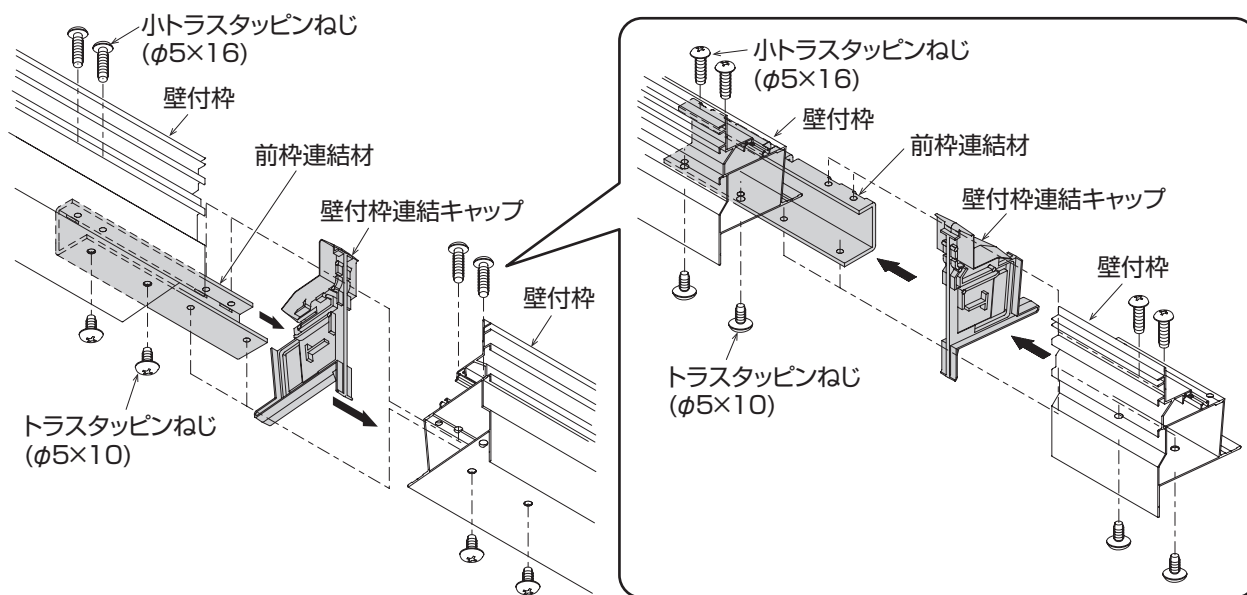
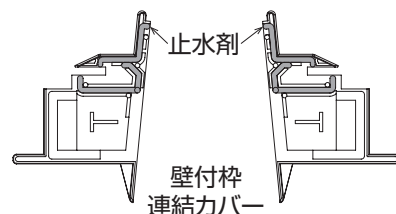
- 壁付枠連結カバー、後枠連結カバーを直射日光が当たる場所または、高温の場所に放置しないでください。  
熱によりキャップが変形するおそれがあります。

**1** 壁付枠連結カバー取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。

**2** 壁付枠を連結してください。

### お願い

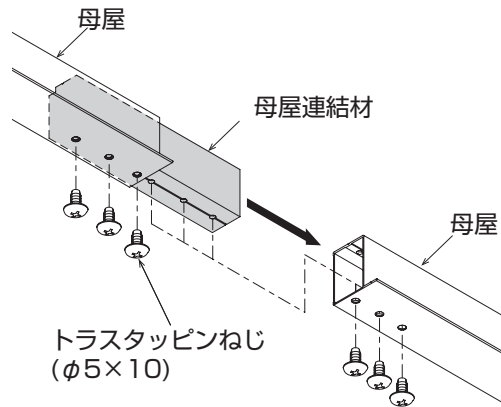
- 壁付枠連結カバーの止水剤に触れないでください。  
砂やほこり、油などを付着させないでください。  
接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 壁付枠連結カバーの取り付け部は、しっかりと押さえつけ  
止水剤を確実に密着させてください。  
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



**3** 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合  
部品を取り付けなおす場合

止水剤の上にシーリングして取り付けてください。

**4** 母屋を連結してください。



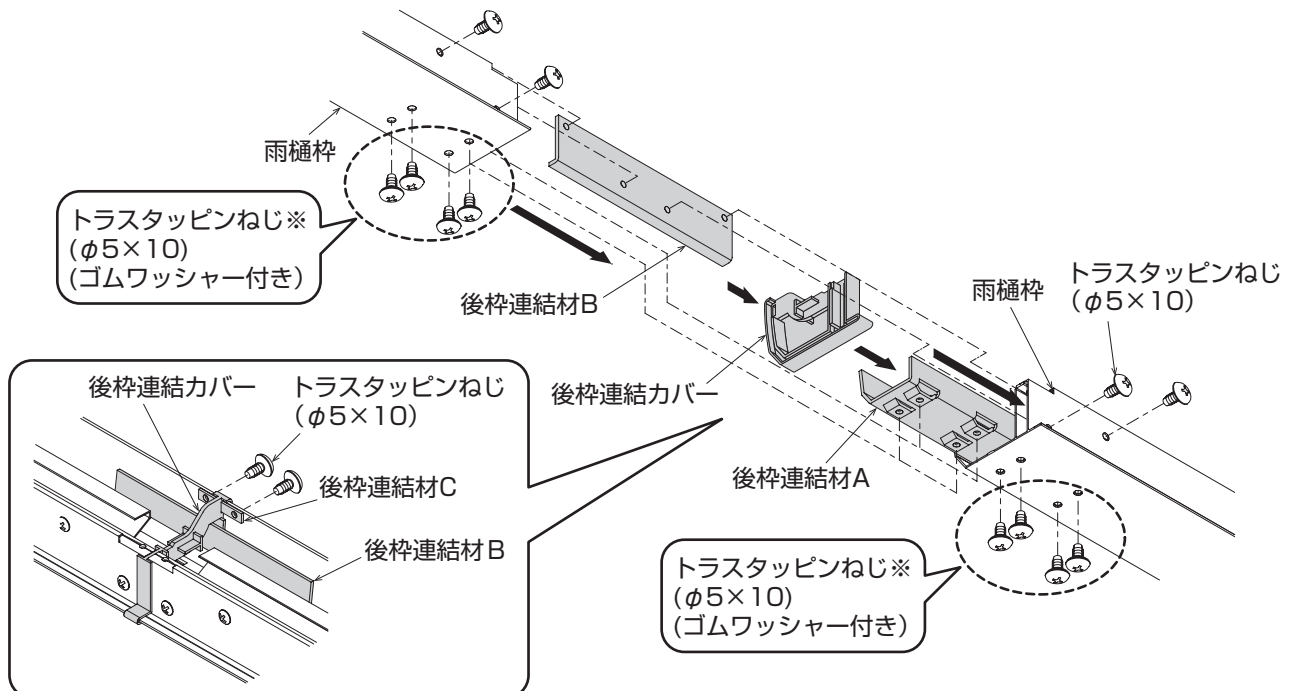
**5** 後枠連結カバー取り付け部の砂、ほこり、油、水分を拭き取ってください。

**6** 雨樋枠を連結してください。

**お願い**

- 後枠連結カバーの止水剤に触れないでください。砂やほこり、油などを付着させないでください。接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- 後枠連結カバーの取り付け部は、しっかりと押さえつけ止水剤を確実に密着させてください。接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。
- 雨樋枠下面は、トラスタッピンねじ(ゴムワッシャー付き)を使用してください。※ねじを付け間違えると漏水のおそれがあります。

止水剤  
後枠連結カバー



**7** 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合  
部品を取り付けなおす場合

止水剤の上にシーリングして取り付けてください。



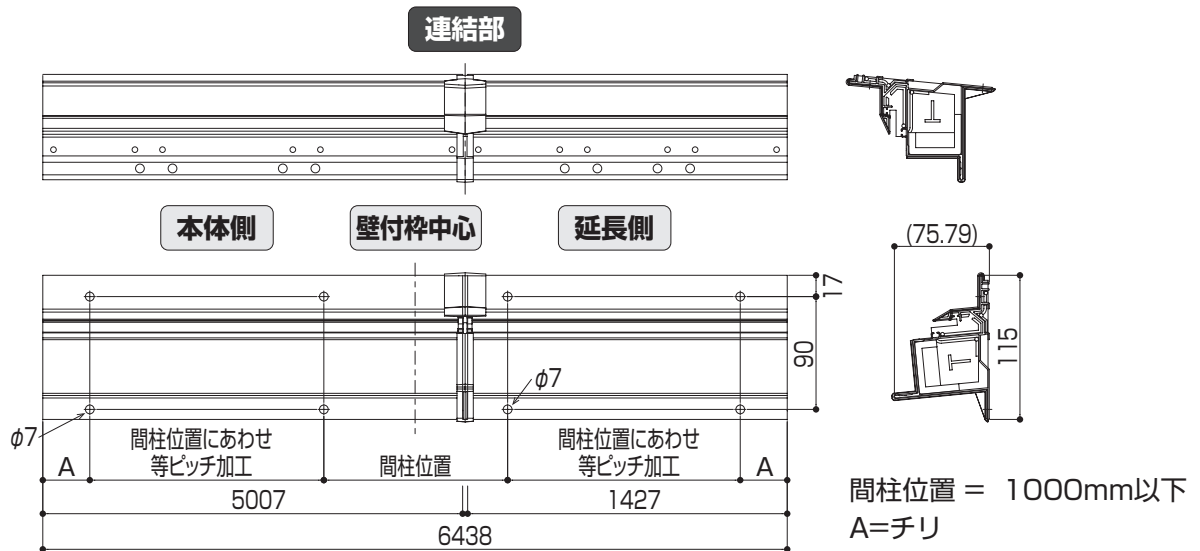
## 壁付枠の加工

1 壁付枠に穴加工してください。

### 奥行延長の場合

① 連結した壁付枠中心を基準に穴加工してください。

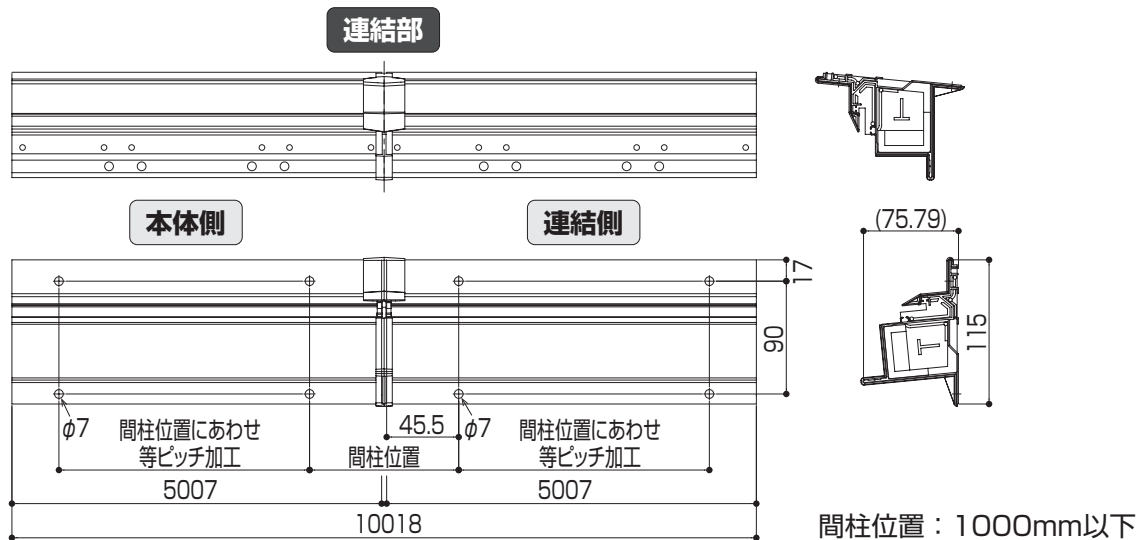
- 図は右側に延長部を取り付ける場合を示しています。



### たて連棟の場合

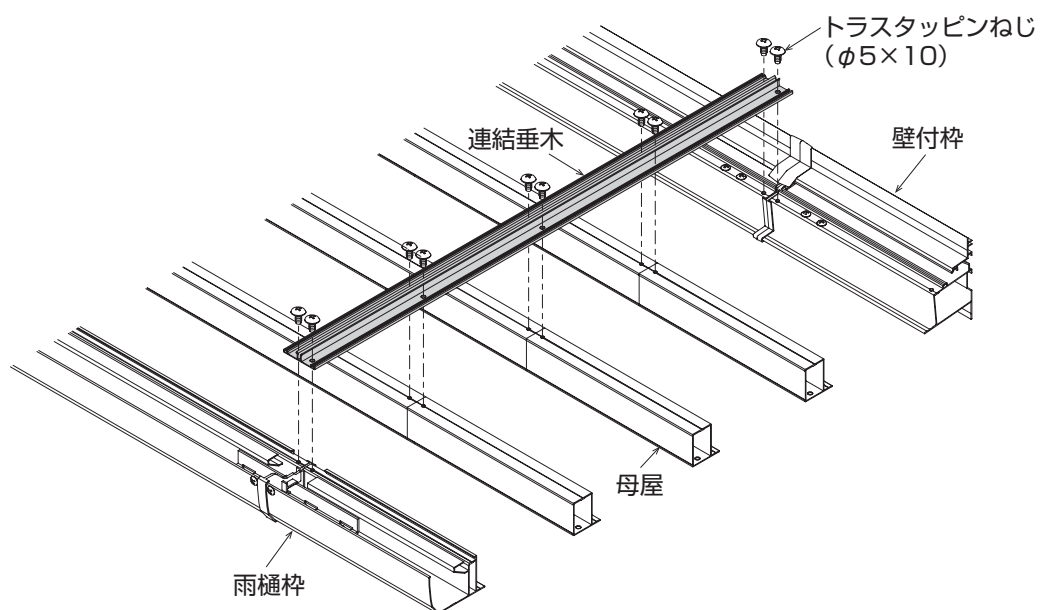
① 連結側の形材端部から45.5mmの位置を基準に穴加工してください。

- 図は右側に連結部を取り付ける場合を示しています。



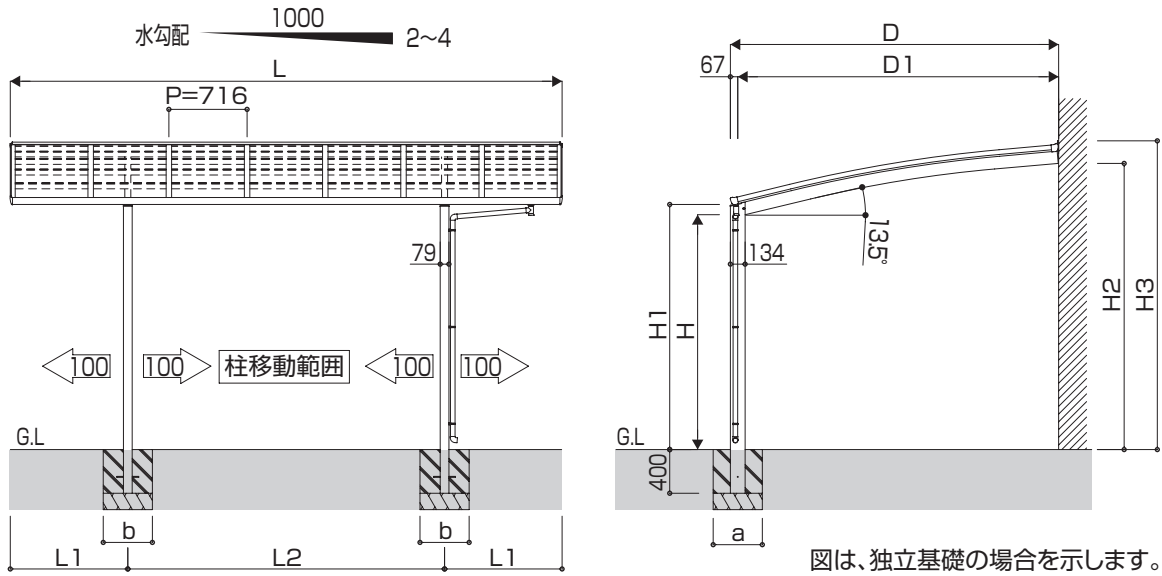
## 連結垂木の取り付け

1 連結垂木を連結部に取り付けてください。



# 寸法図

## 単体セット



図は、独立基礎の場合を示します。

### 寸法表

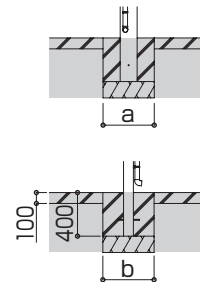
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	L	L1	L2	H	H1	H2	H3
30	51	22 25※	3005	2938	5052	1076	2900	2200	2294	2668	2876
35			3479	3412							
39			3899	3833							

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300足してください。

### 基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )			地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100
30	51	600	600	600	450	450	450
35		800	700	700			
39		850	800	750			

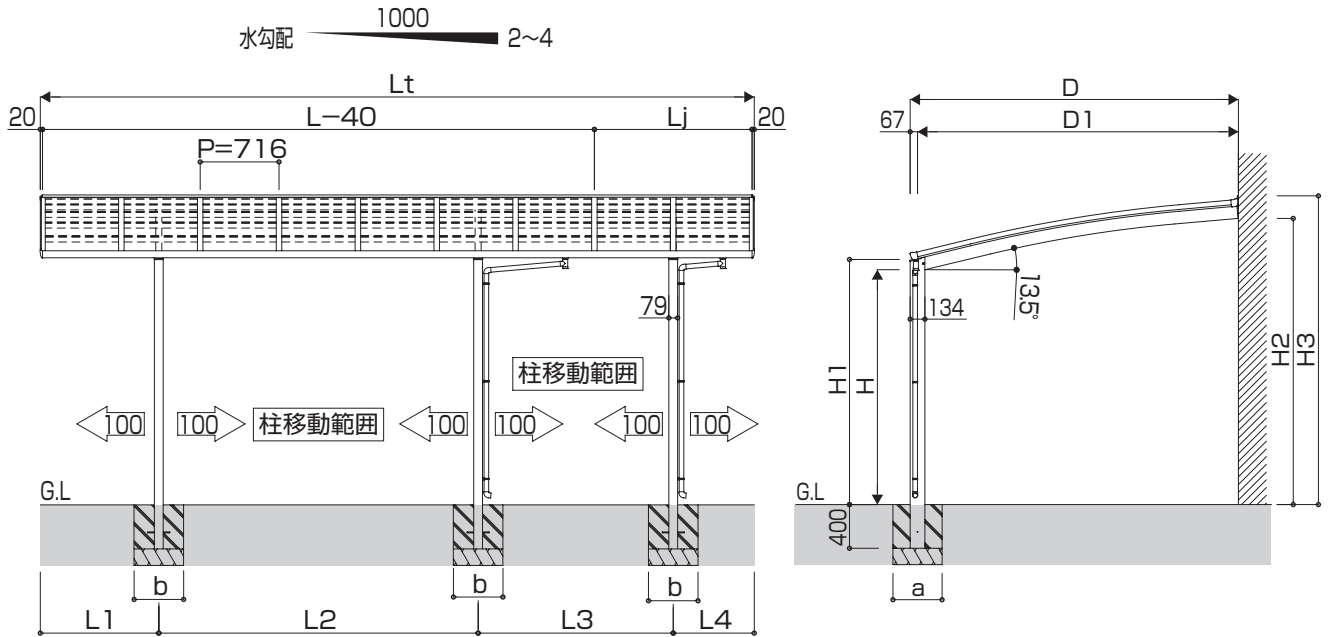
### 【土間コンクリート 考慮基礎の場合】



### 基礎寸法表（側面パネル有の場合）

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )			地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100
30	51	950	800	650	450	450	450
35		1100	950	800			
39		1000	850	550	500		

# 奥行延長セット



図は、独立基礎の場合を示します。

## ■寸法表

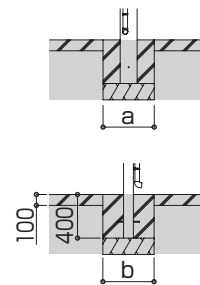
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	H※	H1※	H2※	H3※
30	51+14	22 25※	3005	2938	6484	5052	1432	1076	2900	1772	736	2200	2294	2668	2876
35			3479	3412									2723	2931	
39			3899	3833									2757	2965	

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300足してください。

## ■基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力 (kN/㎡)			地耐力 (kN/㎡)		
		30	50	100	30	50	100
30	51+14	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b
35		600	600	600	450	450	450
39		800	700	700	450	450	450
		850	800	750			

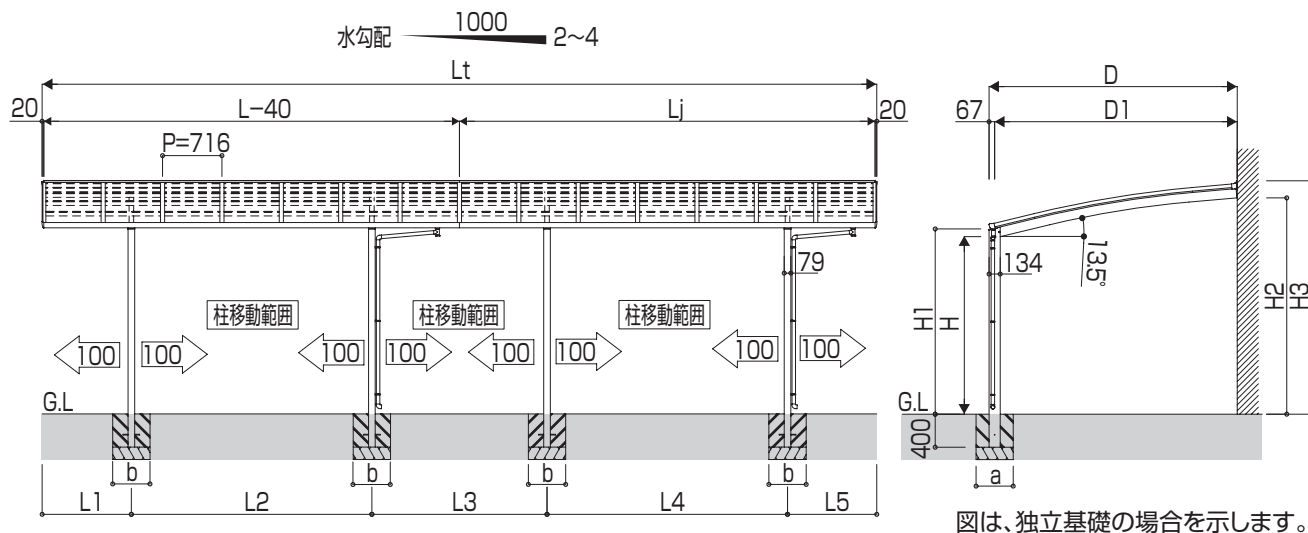
## 【土間コンクリート 考慮基礎の場合】



## ■基礎寸法表 (側面パネル有の場合)

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力 (kN/㎡)			地耐力 (kN/㎡)		
		30	50	100	30	50	100
30	51	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b
35		950	800	650	450	450	450
39		1100	950	800	550	500	450
			1000	850			

# たて連棟セット



## ■寸法表

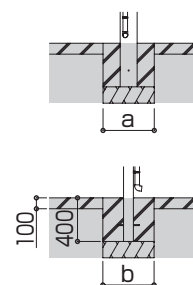
間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	L5	H※	H1※	H2※	H3※
30	51+51	22 25※	3005	2938	10064	5052	5012	1076	2900	2112	2900	1076	2200	2294	2668	2876

※：H、H1、H2、H3は、高さ呼称25の場合300足してください。

## ■基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )			地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100
30	51+51	600	600	600	450	450	450

## 【土間コンクリート 考慮基礎の場合】



## ■基礎寸法表 (側面パネル有の場合)

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎 (既設コンクリートに施工)		
		地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )			地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )		
		30	50	100	30	50	100
30	51+51	950	800	650	450	450	450

